

# 「地域コーディネーター育成講座」実施報告書 (要約版)

## 東上線NPOネット地域雇用推進委員会

<http://changemakers-intern.net/>

### 1.概要

「地域コーディネーター育成講座」として9月13日に「コーディネーターについて」としてESDJの森良氏のコーディネータについてのレクチャー、9月20日に「ファシリテーター講座」としてESDJの森良氏のファシリテーターについてのレクチャーと指導が行われ、9月30日には「まちづくりのビジョンとコーディネーターの役割」、10月14日には「コーディネーターのスキルとビジョン」、10月24日、「地域コーディネーター育成講座」の「合意形成のスキルとコーディネイトプランづくり」が行った。

### 2.体制

主催：地域コーディネーター育成講座実行委員会

共催：東上線NPOネット 地域雇用推進委員会

協賛：ふじみ野市、ふじみ野市教育委員会

助成：公益財団法人サイサン環境保全基金様

### 3.趣旨

「地域の多様な関係者が垣根を越えて協働して取組むのがまちづくり、地域づくりです。

しかし、多様な関係者が関わるということは、価値観、考え方、行動パターンの違いから、摩擦や対立も生まれてくることになり、それを超えて、共通のビジョン（どんな川、どんな地域にしていきたいのか）や協働の調整や役割分担（そのためになにをいっしょにやり、なにをそれぞれでやるのか）についての合意形成を図っていくことが必要になってきます。

## 4.詳細

「コーディネーターについて」 9/13

「ファシリテーター講座」 9/20

「まちづくりのビジョンとコーディネーターの役割」 9/30

「コーディネーターのスキルとビジョン」 10/14

「合意形成のスキルとコーディネートプランづくり」 11/11

開催場所 埼玉県ふじみ野市 上福岡西公民館

### 「コーディネーターについて」

9月13日には「コーディネーターについて」が行われた。

はじめに森講師から、この「地域コーディネーター育成講座」の目的・内容が説明され、実行委員のそれぞれの役割を話しあい、確認した。

<目的>ふじみ野市の地域課題を解決しつつ持続可能な地域づくりを進めるためには、市民の自発性や相違・工夫を引き出したり、地縁団体と市民団体の連携を深めたり、それに加えて行政、大学、企業といった関係者との協働のテーブル作りを進めていくことのできる地域コーディネーターを市民の中から発掘・育成していく必要がある。地域コーディネーターの考え方やスキルを実践的に学ぶ場を作ってそれを行なっていこう。

### 「ファシリテーター講座」

9月20日には「ファシリテーター講座」が行われた。

「地域コーディネーター育成講座」をスムーズに進めるためにはグループファシリテーターが必要であることから、実行委員会の中心メンバー5人に対して予行演習を兼ねてファシリテーターのトレーニングをおこなった。

- 1) ワールドカフェ「ふじみ野をどんな地域にしていきたいか」
- 2) ワークショップ「地域でのコーディネイトの課題」

## 「まちづくりのビジョンとコーディネーターの役割」

9月30日には「まちづくりのビジョンとコーディネーターの役割」が行われた。

地域コーディネーター育成講座実行委員会委員長の開催趣旨の後にふじみ野市の高畑博市長の挨拶があった。

高畑市長は、全町会・自治会でタウンミーティングを行い、職員ともミーティングを重ねて協働のまちづくりを目指している。市民にも、このような講座で従来の要求型市民から協働する市民となり、行政と対等なパートナーシップで新しい公共を共に築いてほしいと述べた。

アイスブレイキングとして会場全体で参加者同士の自己紹介のコミュニケーションづくりが行われた。

これは、アイスブレイキングの手法を学ぶOJTにもなっている。

次に、森良氏による「まちづくりのビジョンとコーディネーターの役割」のレクチャーが行われた。

森氏は、「持続可能なこと」とは具体的に何かを参加者から聞き、また、「持続不可能なこと」とは何かを問いました。

参加者の考えている地域の現実をもとに地域を持続可能にするFEC（食料・エネルギー・ケアの自給）や新しい公共、協働などについて語り、コーディネーターの必要性について述べた。

また、ふじみ野で江戸時代まで存在した地域を持続可能にしていた自給と舟運による交流・交換について述べた。

そして、コーディネーターに必要なスキルとして社会サービスのコーディネート、パートナーシップのコーディネート、コミュニティエンパワーメント、ビジョン・ミッションの共有などを説明した。

その後、参加者同士でまちづくりのビジョンの論議を行った。

その後、参加者で全員でワールドカフェ「ふじみ野をどんな地域にしていきたいか」を行った。

この中で、自然環境や歴史・文化、福祉の重要性、孤立を防ぐ居場所づくり、パワーを発揮できる方法、高齢者、大人、若者、こどもの多世代協働や市民の活動だけでなく企業、農業、商業など異業種交流で持続可能なまちを目指すまちづくりのビジョン・地域像を描けた。

また、多様な価値を持つ市民での合意形成では、反対意見や少数意見を排除せず、コーディネートによって、何に反対なのか、何が違うのからの合意形成が必要なるなどの論議がなされた。



ふじみ野市の高畑博市長の挨拶



ワールドカフェ

## 「コーディネーターのスキルとビジョン」

10月14日、「地域コーディネーター育成講座」の「コーディネーターのスキルとビジョン」が行われた。

地域コーディネーター育成講座実行委員会委員長の開催趣旨、オリエンテーションの後、講師の森氏による前回の概要紹介、本日の課題提起が行われた。

今回はアイスブレーキングによって参加者同士のコミュニケーションづくり、森氏によるまちづくりのビジョンとコーディネーターの役割のレクチャーが行われた。そして、参加者同士でまちづくりのビジョンの論議を行い、ワールドカフェ「ふじみ野をどんな地域にしていきたいか」を行った。

ワークショップ「地域でのコーディネート課題」で参加者が論議し、論議した内容を発表した。

大人も子どもも豊かにすこやかに育つ地域と環境をつくるためにニーズと課題の発掘も地域を良く知り夢を持つためにコーディネーターの資質の向上を目指す。

コーディネーターはまちづくりを具体的に考えるために、目標を一緒に設定し、具体的に情報を提供し、世代間や分野をつなげる。

そのためにコーディネーターは「意見調整力」、つまり、「話を聞く」「まとめて整理する」「ファシリテートする」力が必要である。

そして、それを具体化するために人と人とのつながりが大事であり、聴く、話す、伝える、伝わる、笑う誰もが集える明るいサロンの様な場が重要である。

相談対応ロールプレイとして参加者がリアルな課題を相談しあい、実践に役立てた。

これは、3人一組に分かれ、おのおのがaコーディネーター、b相談者、cオブザーバーとなって全員がそれぞれの役をやり相談対応を学ぶものだ。

その後、ふりかえりとまとめを行った。



ワークショップ「地域でのコーディネートの課題」



相談対応ロールプレイ

## 「合意形成のスキルとコーディネートプランづくり」

10月24日、「地域コーディネーター育成講座」の「合意形成のスキルとコーディネートプランづくり」が行われた。

地域コーディネーター育成講座実行委員会委員長の挨拶の後、講師の森氏による前回の概要紹介、本日の課題提起が行われた。

前回はワークショップ「地域でのコーディネイトの課題」で参加者が論議し、論議した内容を発表し、相談対応ロールプレイとして参加者がリアルな課題を相談しあい、実践に役立てた。

まず、合意形成について森良氏から講義があった。

次に、合意形成のスキル「地域でのコーディネイトの課題のランキング」では、ワークショップで参加者が論議し、論議した内容を発表した。

このワークショップでは、前回のワークショップで出された「地域でのコーディネイトの課題」である、「まちづくりを具体的に考える」「意見調整力」「コーディネーターに必要な資質、スキル」「地域を良く知り夢を持つ」「つなげる、つながる」を順位付けた。

参加者がダイヤモンドランキングの手法を使って個人で重要な順に順位づけて、それをグループで一つのランクにすることで合意形成のスキルのトレーニングを行った。

その後、グループごとに発表し、全体で共有した。

そして、プランニング「私のコーディネイトプラン」では、プランづくりと論議が行われた。

参加者が個人で誰と誰を、どのようにコーディネートするかなどの自分のコーディネイトプランを「コーディネイト企画シート」に書き、その要約を一枚の紙にまとめた。

それを全員で発表し、同じ課題を持つ参加者でグループに別れ、論議した。

その後、ふりかえりとまとめでは終了後どうサポートしあい、コーディネートを進めていくかを検討した。

今後、同じ課題を持つ参加者がグループ毎にコーディネートを進めていくことになった。



「地域でのコーディネイトの課題のランキング」



「私のコーディネイトプラン」